

コロナに翻弄された地方経済。受給可能な給付金の確実な活用を！

中小企業支援金は1月29日まで

松戸市では、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって経営面で打撃を受けた中小企業にたいして、さまざまな支援策を打ち出してきました。その多くが給付終了を迎えた中で、まだ活用可能な施策があります。

「中小企業等支援金」は、令和2年1月以降、売上が前年度に比べて20%以上～50未満の割合で減少した月があれば、従業員数に応じて最大50万円の給付が受けられるものです。この支援金は郵送で申請するものですが、令和3年1月29日の消印まで有効です。制度が周知され切っておらず、対象企業であるにもかかわらずまだ申請されていない事業者もあります。予算を議会可決した者としては、全ての対象者にご活用いただきたく願っています。今一度ご自身の企業の実績をご確認いた

だき、対象であればぜひ申請して欲しいと思います。

また、売上が前年度に比べて50%以上減少した付がある事業所は、個人事業主でも100万円が給付される国の持続化給付金の対象です。こちらも、令和3年1月15日まで申請可能ですので、12月分の売上まで見定めつつ、確実にご活用ください。



議会最終日1人親家庭の支援可決

新型コロナウイルスは、経済全体に大きなダメージを与え、その結果、所得が大幅に減少した家庭も少なくありません。子育てをしながら働く女性にも、収入が減り、厳しい生活を余儀なくされている方々がいらっしゃいます。正社員としてのお給料が減った、いわゆる派遣切りであった、アルバイト・パートの出勤日を削られたなど、悲痛な声が市の窓口にも数多く寄せられています。

松戸市市議会では、去る12月21日の12月定例会最終日に提案された、「ひとり親世帯臨時特別給付金」を可決しました。これは国の予備費を財源としたもので、親一人で子育てをする家庭に向けて、第1子にたいして5万円、2人目以降の子どもにたいして各3万円ずつ支給するものです。そして、担当課の努力で、議会可決からわずか3日の12月24日のクリスマスイブには、対象家庭に給付できました。

今後も国の予算動向をしっかりと見すえつつ、市民にたいする可能な支援策を常に模索し、厳しい環境を乗り越えるための政策づくりに取り組んでいきます。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94